

安楽満
介護リフト
つるべ

TSURUBE

この度は、「介護リフトつるべY2・Y3セット」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

「介護リフトつるべ」を安全にご使用いただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。なお、使用方法に関しましては、基本的な事項に重点を置きましたので、それぞれの状況に応じた使用方法については専門家にご相談ください。



※お買い上げの製品は機器の仕様変更により、取扱説明書の内容が一部異なる場合があります。

	ページ
I 安全上のご注意	2
II 使用上のご注意	2.3
III 各部の名称	4
IV 組み立て方	5.6
V リフトの使用方法	7
• ベッドからの移乗	7
• ベッドへの移乗	7
• 床からの移乗	7
• 床への移乗	8
VI 電装品の使い方	8
1. スイッチの使い方	8
2. コントローラーの使い方	8.9
クイックリリース（手動下降装置）	9
VII 車いすにしっかり座る3つの方法	10
VIII 仕様	10
IX 困ったときは	11

I 安全上のご注意

安全に介護をしていただくために、安全上・取扱上の重要なポイントについては安全表示ラベルを本機に貼付しています。また安全表示ラベルとともに取扱説明書に示した表示と表示内容は次のようになっています。

 **警告**

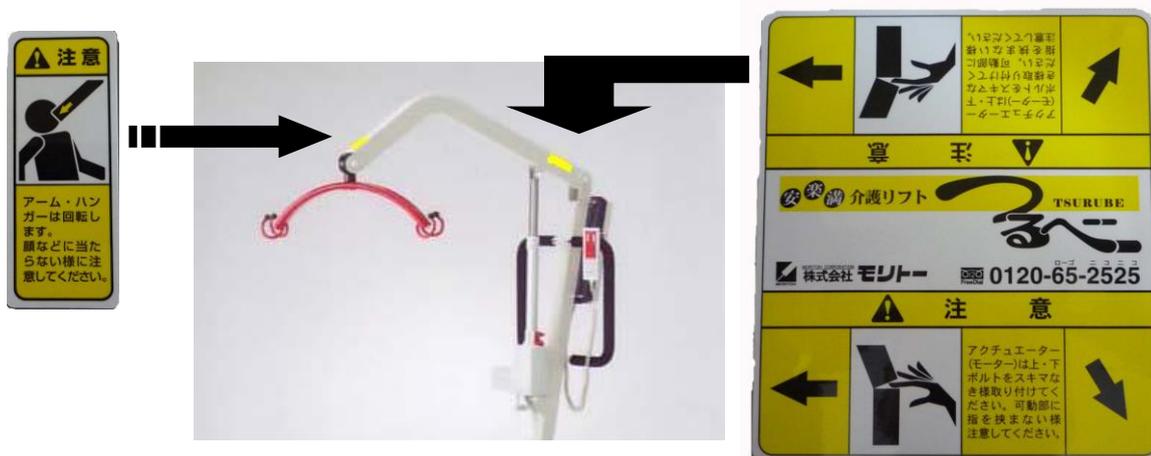
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性がある内容を記載しています。

 **注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生する内容を記載しています。

安全表示ラベルについて

- 本機には、安全にご使用いただくために安全表示ラベルが貼付してあります。必ずお読みいただき、これらの注意に従ってください。
- 安全表示ラベルが破損したり、なくなった場合または、読めなくなった場合は新しいラベルに貼換えてください。
- 安全表示ラベルは、お買い上げいただいた販売店に注文してください。



II 使用上のご注意

警告

- 昇降中はリフトのキャスターのロックを掛けないでください。キャスターをロック状態で昇降操作を行いと重心が偏り、転倒してけがをするおそれがあります。
- 昇降中はロックをフリーにしてください。ご利用者の重心位置が変わると、リフトが前後に移動し、安定を保ちます。
- Y3セットは210kgを超える方を吊りあげないでくださいY3セット ※Y2セットは180kgまでの方、体重計装着時は150kgまでの方耐荷重を超える方に使用すると、リフトの変形、破損の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを持たないでください。感電のおそれがあります。
- スリングのストラップの外れに注意してください。特に作動前にはストラップがしっかり掛かっていることを確認してください。脱落の原因となります。

- リフトの改造や分解はしないでください。安全機能に支障をきたし、機器の破損の原因となります。
- 人を吊りあげた状態で、長い距離を移動しないでください。長い距離の移動には適していません。
- 被介護者単独で使用しないでください。必ず介護者のつか状態で使用してください。
- 段差のある所では移動しないでください。転倒してけがをしたり、故障の原因となるおそれがあります。
- 昇降作業をするときは、リフトの脚開閉レバーを右側に倒して、脚をいっぱいまで開いてご使用ください。
脚を開かないで使用すると、転倒してけがをするおそれがあります。
- 支柱（マスト）と脚部の固定ボルトは、確実に固定してください。バランスを崩すなど、転倒してけがをするおそれがあります。
- 充電コードをキャスターなどで踏んだり、重量物ではさんだりしないでください。コードが痛んで感電、焼損、漏電、火災のおそれがあります。
痛んだコードは交換してください。
- スリングシートは正しく装着してください。ご利用者のバランスが崩れ、落下のおそれがあります。装着方法は、スリング（吊り具）の使用方法を参照してください。
別にスリングシートの取扱説明書がある場合は、必ずよくお読みいただき、正しくお使いください。

注意

- ハンガーに注意ください。特にスリングを着脱するとき、ハンガーを手で支えて操作してください。
- ベッド下に障害物がないか確認してください。リフトの脚部が正常に入らなくなるおそれがあります。
- 障害物に注意してください。アーム可動範囲に障害物があると、被介護者が障害を負ったり、機器が破損するおそれがあります。
- 湿気が多い場所では使用したり、保管しないでください。漏電や故障の原因となります。
- 可動部のすきまに手や指をはさまないように注意してください。
- アクチュエーター（モーター）は上下ボルトをスキマなく、しっかり奥まで差込んでください。故障の原因となります。
- 昇降中や移動時は足元に注意してください。キャスターに足を踏まれて、けがをするおそれがあります。
- バッテリーはこまめに充電してください。バッテリーが不足していると動かなく可能性があります。
- お手入れをするときは、緊急停止ボタンを押した状態で行ってください。ご操作による、けがのおそれがあります。

Ⅲ 各部の名称



- ①六角レンチ 8mm
- ②六角レンチ 5mm
- ③六角レンチ 4mm
- ④六角レンチ 3mm
- ⑤スパナ 13mm
- ⑥ハンドル
- ⑦バッテリー
- ⑧コントローラー
- ⑨アクチュエーター (モーター)
- ⑩スイッチ
- ⑪充電コード
- ⑫開閉レバー

IV 組み立て方

1. 支柱と脚部にあらかじめ、付いているボルト（A・B）を外します。
脚部の四角穴に、支柱を差込み、①六角レンチ8mmでしっかりボルトを締め付けてください。



A：脚部（下）

B：支柱（上）



2. ハンドルを取り付けます。
支柱にあらかじめ、付いているボルト（左右各2個）を外します。（写真1）
ハンドルを支柱側の受けに差込み、③六角レンチ4mmでボルトを締め付けてください。



写真1



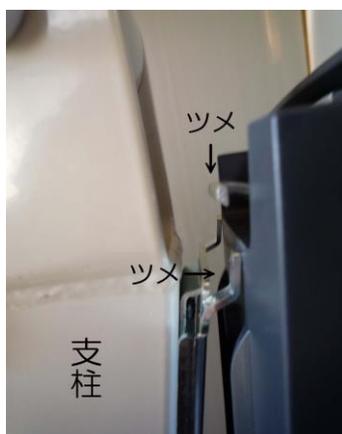
3. コントローラーを取り付けます。
支柱後側の背板（銀色の金属板）のボルトを④六角レンチ3mmで外します。
コントローラーを写真2のように、背板に沿わせて、止まるまで下げてください。
ネジ穴に合わせ、ボルトを④六角レンチ3mmで締め付けてください。



写真2



4. バッテリーを取り付けます。
背板側のツメとバッテリー側のツメを重ね、コントローラーの上にバッテリーを載せてください。



支柱



←バッテリー接続完了

5. アクチュエーター（モーター）を取り付けます。
 アームと支柱にあらかじめ、付いているボルト・ナットを外してください。写真3・4
 モーター下部と支柱側の受けの穴を合わせてボルト・ナットを固定します。
 ②六角レンチ5mmと⑤スパナ13mmでしっかりと締め付けてください。

続いて、モーター先端とアーム側の穴を合わせてボルト・ナットを固定してください。
 ②六角レンチ5mmと⑤スパナ13mmでしっかりと締め付けてください。



写真3



※モーターの取付方向を間違えないように左の写真をご参照ください。



写真4



! 注意

ボルトはしっかり奥まで差込んでください



6. コントローラーにプラグを差込みます。
 アクチュエーター（モーター）プラグ（B）およびスイッチプラグ（A）のそれぞれのジャックに差込んでください。
 電源コード（プラグC）を差込んでください。



A B C

※詳しくは、VI 電装品の使い方をご参照ください。

7. 開閉レバーを差込みます。



V リフトの使用法

◎スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください

●ベッドからの移乗

1. ハンガーがご利用者の体幹の真上にくるように、リフト本体を移動してください。
(リフトの脚部をベッド下に入れます)

ハンガーがご利用者に対して、左右均等であることを確認ください。

2. スリングのストラップをフックに掛けます。
ストラップがすべて、フックに掛かっていることを確認のうえ、スイッチの上がる▲ボタンを押して、ご利用者の臀部がベッドから離れるくらいあげてください。
(肩や太ももにシワがあるときは伸ばしてください)

※昇降中はキャスターをロックしないでください。

※背上げ機能ベッドをお使いの場合は、ベッドの背を上げてください。

(ご利用者の身体状況やスリングにより、操作方法が異なります)

3. ご利用者のからだを支えて、リフトの支柱の方を向くように回転させます。
リフトのハンドルを持ち、リフトをベッドからゆっくり引き出します。
(勢いよく引くとご利用者が大きく揺れるおそれがあります)

●ベッドへの移乗

1. リフトのハンドルを押し、ご利用者をベッドに降りる位置へ合わせて移動させます。
2. あらかじめ、ベッドの背を上げておいてください。スイッチのさがる▼ボタンを押して、ご利用者をベッドに降ろしていきます。体重がスリングに掛からなくなり、ストラップが十分ゆるむまでハンガーを下げてください。

※昇降中はキャスターをロックしないでください。

※背上げ機能ベッドをお使いの場合は、ベッドの背を上げてください。

(ご利用者の身体状況やスリングにより、操作方法が異なります)

3. ストラップをフックから外します。

●床からの移乗

1. ご利用者の頭や首を保護するため、頭部下に枕を入れてください。
2. リフトをご利用者の近くに移動します。
3. スwitchのさがる▼ボタンを押して、スリングのストラップが掛けられる高さまでハンガーを降ろします。
ハンガーがご利用者に当たらないように気をつけてください。
4. ストラップをフックに掛けます。
すべてのストラップが掛かっていることを確認のうえ、スイッチのあがる▲ボタンを押して、ご利用者を起こしていきます。
5. リフトを移動させる前に、ご利用者がリフトの支柱の方を向くように回転させてください

●床への移乗

1. ご利用者を降ろす場所に枕を置きます。
2. ご利用者を支柱に背を向けた方向に回転させてください。
3. スイッチのさがる▼ボタンを押して、ご利用者の体重がスリング掛からなくなり、ストラップが十分ゆるむまでハンガーを降ろしてください。
4. ストラップをフックから外します。

※昇降中はキャスターをロックしないでください。

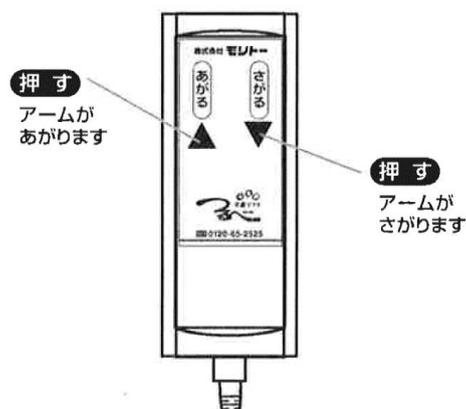
VI 電装品の使い方

図1

1. スイッチの使い方

図1

- ①スイッチでアームの上昇下降の操作を行います
- ②スイッチから手を離すと停止します



2. コントローラーの使い方

図2

- ①アクチュエーター（モーター）プラグ（B）およびスイッチプラグ（A）のそれぞれのジャックに差し込んでください
- ②電源プラグ（C）初めてご使用になる時は、12時間以上充電してください。このバッテリーは過充電防止機能付きですので、コンセントに差し込んだままでも安全です。（通常充電時間6時間）

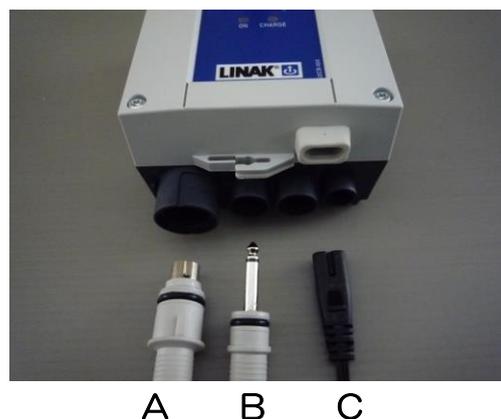


図2

図3

- ③充電中はONのランプが点灯。CHARGEランプも点灯し、充電完了でCHARGEランプのみ消灯。



充電中



充電完了



通常時

図3

④充電中は作動しません

⑤バッテリー残量が50%以下になると、アラーム音でお知らせします。
お早めに充電することをお勧めします。

⑥バッテリーは、最大で約40回使用できます。（利用状況により変わります）

図4

⑦操作中の誤作動により、モーターを停止したい場合は、コントローラーにある緊急停止ボタン（赤色）を押してください。
機能を復帰する場合は、矢印方向にボタンを回してください。

⑧使用中のバッテリー不足、スイッチ故障などの場合は、エマージェンシー（EMERGENCY）をご使用ください。緊急停止ボタンの下にあり、とがった棒（ボールペン等）で押せば、モーターが下方にのみ可動します。

⑨リフト使用时、電源コードは本体ハンドル部に巻きつけるか、取りはずしてください。

●アドバイス
モーター・スイッチのプラグの抜き差しで、硬い場合は、ホワイトグリス等で塗布してください。

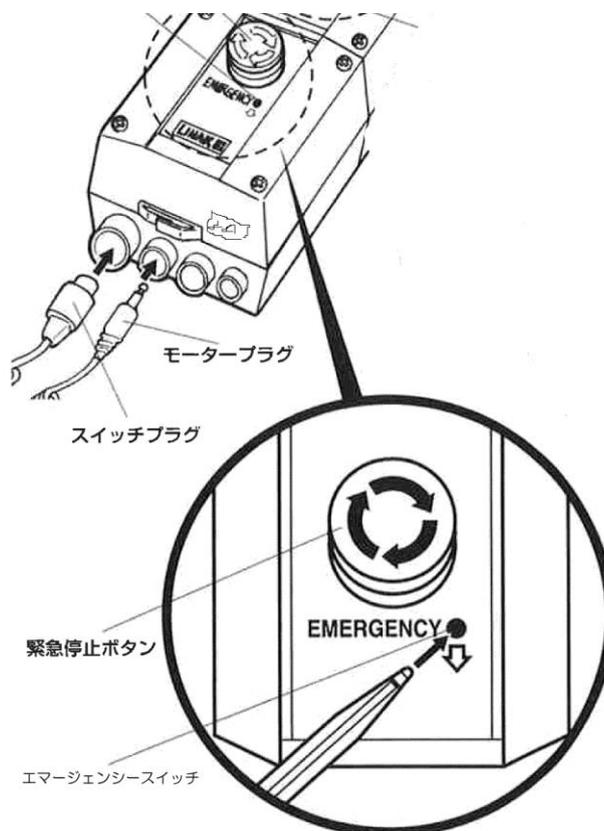


図4

図5

●クイックリリース

手動下降装置「クイックリリース」は電源トラブルやスイッチ故障など、ご利用者をすぐに安全な場所へ降ろしたい時に使用します。レバー（赤）を引っ張っている間、ご利用者を降下することができます。

※ご利用者を懸垂していない場合など、アームに荷重が掛かっていない状態では、手動下降装置は動きません。



図5

VII 車いすにしっかり座る3つの方法

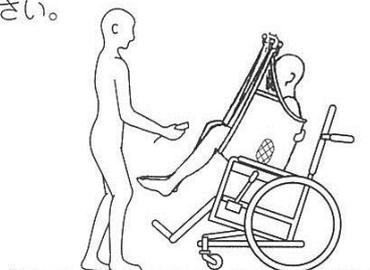
(1) 膝を押す=ブレーキを掛ける

- ①車いすのブレーキを掛けます。
- ②着座直前に、深く座れる位置まで斜め下に膝を押しながらスイッチを操作してください。



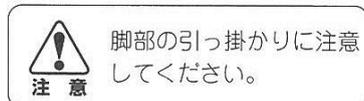
(2) ティルト・リクライニングの角度を合わせる

- ①車いすのブレーキを掛けます。
- ②ご本人の吊り姿勢（角度）に合わせて、ティルト・リクライニングを調整します。
- ③深く座れる位置を確認してスイッチ操作してください。

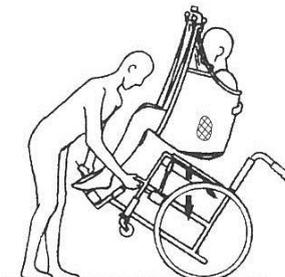


(3) キャスターをアップする=ブレーキを解除

- ①車いすのブレーキを解除し、前方(後方)よりキャスターをアップします。
- ②スイッチを操作して下降させます。この時、ご本人の重さを感じながら徐々に車いすをもどします。



レッグサポートをはずしてください。



指のはさみに注意してください。
車いすの構造により困難な場合があります。

VIII 仕様

全長	1,250mm
上下ストローク	約1,380mm
アーム高さ(最高)	1,695mm(床より)
アーム高さ(最低)	315mm(床より)
体重計装着時(最高)	1,530mm(床より)
(最低)	150mm(床より)
耐荷重	Y3:210kg / Y2:180kg ※体重計装着時 150kg
本体重量	45kg
バッテリー	家庭用電源AC100Vで充電)
搭載機能	・緊急停止ボタン ・エマージェンシースイッチ ・クイックリリース ・挟み込み防止

Ⅸ 困ったときは

「介護リフトつるべ」をご使用の際、不具合が生じた場合は、下記の手順で対処いただき、改善されない場合は、販売店又はメーカーまでご連絡ください。

症状	対処方法
<p>リフトが上昇・下降しない</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. スイッチ・アクチュエーター（モーター）の各プラグがしっかり差し込まれているか確認ください 2. 動かない場合は、エマージェンシースイッチ又はクイックリリースを使用し、ご利用者を安全な場所に移動してください ※ VI 電装品の使い方 10ページをご参照ください 3. 移動後は使用をやめ、販売店かメーカーに連絡してください <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> ①充電コードがコンセントに差し込んだままになっている ⇒コードを抜いてください ②緊急停止ボタンが押しこまれていませんか ⇒矢印の方向に回してください ③バッテリーの寿命になっていませんか ⇒バッテリーを交換ください
<p>アクチュエーター（モーター）が異常な金属音や振動がある</p>	<p>使用をやめ、破損の有無を確認。</p> <p>販売店かメーカーに連絡し、症状をお伝えください</p>

■製造発売元



お客様相談室 ☎0120-65-2525

【モリトーホームページ】 <http://www.moritoh.co.jp>

【E-mail】 info@moritoh.co.jp

■本 社 / 〒491-0074	愛知県一宮市東島町3-36	TEL (0586) 71-6151	FAX (0586) 72-4555
■札幌営業所 / 〒063-0870	北海道札幌市西区八軒十条東1-1-57-101	TEL (011) 708-5200	FAX (011) 708-5201
■仙台営業所 / 〒981-1103	宮城県仙台市太白区中田町字二軒橋36-13	TEL (022) 302-7914	FAX (0586) 72-4555
■東京営業所 / 〒143-0025	東京都大田区南馬込4-16-3	TEL (03) 3777-1648	FAX (03) 3777-1649
■東京ショールーム / 〒143-0025	東京都大田区南馬込4-16-3	TEL (03) 3777-1648	FAX (03) 3777-1649
■中部営業所 / 〒491-0074	愛知県一宮市東島町3-36	TEL (0586) 71-6151	FAX (0586) 72-4555
■大阪営業所 / 〒538-0043	大阪府大阪市鶴見区今津南3-2-16	TEL (06) 4258-7105	FAX (06) 4258-7106
■岡山営業所 / 〒701-0221	岡山県岡山市南区藤田647-89北1号	TEL (086) 259-2910	FAX (0586) 72-4555
■福岡営業所 / 〒811-1204	福岡県筑紫郡那珂川町片縄東1-12-1	TEL (092) 953-1892	FAX (092) 953-1973